



かみ
髪の 色や形、顔立ちや青丈は曾、運
う。同じ人なんていない。似合う
色や服装も人それぞれ。

「あなたには、春らしい明るい髪がぴったり！」

「あなたには、爽やかな色合いのメークが合いますよ！」

金民静は、一人一人に合ったメークや、コーディネートの配色をアドバイスする“カラーコンサルタント”として活躍している。

昨年、個人経営のサロン「DEAR IN UP」をオープン。“DEAR（親愛なる）”は大切なお客様に向けて、INとUPには“内面の美しさを引き出したい”との民静の思いが込められています。

客層は、就職活動を控えた学生や、社会人、主婦などさまざま。

「美容のアドバイスにとどまりません。私の一言が、その人の生き方や価値観に影響を与えることもあります。“励まし”を送る思いで、仕事に臨んでいます」

一人の50代の女性が来店した時のこと。彼女は、長年、家事や育児に追われ、おしゃれとはすっかり無縫になったという。“自分に似合う口紅の色も分からなくて……”と肩を落とす。

「大丈夫ですよ！ 誰にでも自分だけに似合う色が必ずありますから」

カウンセリングを重ねる中、女性は徐々に明るさを取り戻した。

“おしゃれが楽しみになりそう！”と、軽やかに笑顔で会話を進めた。

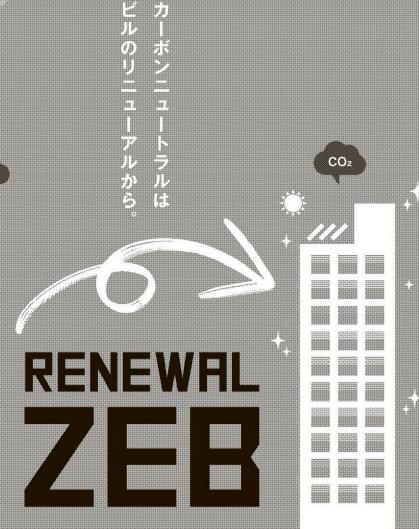


TOMORROW 取材協力／韓国「法蓮」誌

地図に残る仕事。

大成建設

For a Lively World



※連載のバックナンバーは電子版で読めます。(有料会員)

ご感想をお寄せください

world@seikyo-np.jp

ありのままが一番美しい あなただけに合う“色”は 必ずあるから！

昨年、カラーコンサルタントとして独立



韓国 SGI 金 民静 さん

かな足取りで店を後にする姿を見ると、民静の心に熱いものが込み上げた。

「『姿を人と比べてしまう』、『自分の外見が好きになれない』という声をよく聞きます。でも仏法で『桜梅桃李』と説かれているように、『ありのままの姿』が一番美しいんです。各自の魅力を引き出し、『その人だけの長所、を輝かせる仕事をしたいと思います』

幼い 頃の民静は他人と自分を比べて、卑屈になることが多かったという。その上、感情の起伏が激しく、自分に自信が持てないことが悩みだった。

母は家族の中で唯一のSGIメンバー。何があっても揺らぐことのない母の姿を見て、民静も信仰を実践したいと思うように。

「でも、宗教というのはどうしても、何かに“すがる”ような先入観があって……」

そんな民静が、信心の確信をつかむきっかけ

を得たのは、大学に進学してからだ。第1志望の学校に合格できず、やむなく進んだ大学。周囲の友人たちと自分を比べて落ち込んだ。

「一緒に題目を唱えてみない？」

ある時、家を訪問した女子部のメンバーが声をかけてくれた。試しに題目を唱えると、徐々に気持ちの変化を感じる。

「題目を唱えると自信がついてくるんです。思い切って、元々志望していた大学にもう一度願書を出し、翌年、受験したところ、合格することができました！」

「この信仰は決して、おすぐりじゃないんだ。——自分の持つ可能性を最大限に引き出してくれるのが、信心の力だと実感した。

納得の末、19歳で入会した。

大學 では自分のやりたいことに思う存分、挑戦した。学生部の活動にも貢献、たくさんの友人に創価の哲学を伝えた。

和光新聞（韓国SGIの機関紙）を手に、女子部のメンバーと語らう金民静さん



そんな中、ある教授の紹介で“カラーコンサルタント”という職業を知った。

仕事の内容に興味を引かれたが、当時はまだ韓国では、なじみが薄い職業だった。

民静は、ひとまず別の業種に就くことに。インターネットやスマートホンの旅行宿泊サイトを運営する会社に入った。

「職場で悩みに直面するたびに、女子部のメンバーと励まし合いながら乗り越えました。ところが入社から1年半ほどたった頃、コロナ禍が襲ったんです」

会社は大打撃を受け、民静は休職を迫られた。政府からの支援金を受けながら生活をしたが、将来の見通しは全く立たない。

「でも、不思議と悲觀的な気持ちにはなりませんでした。ある時、唱題をしていたら“カラーコンサルタント”的な仕事が頭に浮かんできました……今こそ、本当にやりたいことができるチャンス」と思えたんです」

生活費をやりくりしながら、カラーコンサルタントなどの資格の勉強に挑戦。取得後も、講座やセミナーを通じて懸命に学んだ。美容の世界で身を立てていくことを誓い、会社を辞職。コンサルタントとしての活動を本格的に始めた。

「安定した収入を得られるまで苦労の連続でした。銀行の残高に5000ウォン（日本円で約550円）しかなかったことも。学会の庭で園女子部長として活動に励む中、必ず実績を示したいと、常に最善を尽くしました」

キャリアを着実に積み、2022年10月に個人サロンを開店。丁寧な接客が評価され、売り上げは毎月、アップしてきた。

「信心を通じて、私は自信につけることができました。仕事では、さらに実力を磨き、たくさんの人々に“ありのままの美しさ”を伝えたいと思います！」

(10月27日付)

「ZEB」(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは、年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減とともに、創エネでエネルギー収支「ゼロ」を目指した建築物のことをいいます。

国は2050年カーボンニュートラル実現のため住宅・建築物の対策方針を掲げており、大成建設はこの方針をふまえ新築・既存ビルの様々なZEB化[®]に先駆的に取り組んでいます。さらに独自の技術として壁面・窓面太陽光パネル「T-Green[®] Multi Solar」の採用も進めています。

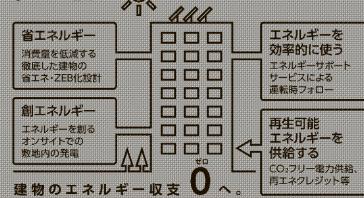
大成建設は、ZEBのフロントランナーとして、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

※ZEBには消費エネルギー量の削減率に応じて4つのカテゴリーがあります。



大成建設の
リニューアル ZEB についてこちら。

● ZEBとは



● ZEB化のメリット

- 光熱費の削減
- ESG評価を高める
- 投資家・取引先からの信頼を高める
- 不動産価値の向上
- 災害時の事業継続性向上
- 執務者の快適性向上